



ロシアの銀行部門が抱える問題

研究員 糠谷 英輝

堅調に推移する原油価格に支えられた輸出と国内投資の増加に支えられ、本年 1～5 月の実質 GDP 成長率は前年同期比で 7.1% 増とロシア経済の成長加速が伝えられた。ロシア経済が今後も持続的な成長を続けるためには、石油・天然ガスなどの原料部門に依存した経済構造から製造業の発展を中心に、経済構造の多様化を進めることが不可欠である。またロシアの製造業では機械設備の老朽化が深刻化しており、大規模な設備投資が必要になっている。こうした問題を解決していくためには、資金を効率的に配分していかねばならず、その役割を担う銀行部門がどの程度発展しているかがその鍵を握る。直接金融を可能にする資本市場が発展途上段階であること、ロシアではユニバーサル・バンク制度が採られており、銀行が証券業務も行っていることも考え合わせれば、銀行部門がロシア経済に与える影響がより大きいことが理解されよう。

ロシアの銀行の資産、負債の構成の推移を見てみると、資産サイドでは対民間企業・家計部門への融資が大きく増加しており、2003 年 5 月末では総資産の 50% を越える水準に達した。負債サイドでは資産サイド程の顕著な変化は見られないが、要求払い預金、定期性預金、市場性資金ともに着実に増加している。

またロシアの銀行部門の最近の動きでは、モスクワを主とした都市部でのリテール・バンキングの展開が目立っている。リテール・バンキングで先行していた Raiffeisen Bank、シティバンクなどの外銀勢に加えて、民間最大手のアルファ銀行もアルファ・エクスプレスと名付けた支店展開を開始しており、月収 300 ドル以上の若年・中堅層の集中的な顧客開拓が目標とされている。リテール・バンキングが活発化してきた背景には、好景気で消費ブームが起き、消費者ローンが増加してきたこと、他方では余裕資金を銀行に預ける市民が増えてきたことが指摘される。早ければ 2005 年から民間銀行に対する預金保険制度も導入される予定である。

次に銀行の資本勘定を見ると、1998 年の金融危機以降、ロシアの銀行部門の資本勘定は 2003 年 5 月末で 1998 年末比 6 倍弱まで増加している。この背景にはロシアの銀行の資本不足に関する対応として、2001 年 12 月に最低資本水準を引き上げる決定がなされたことがある。同決定によれば銀行の最低資本の基準は 5 百万ユーロとされ(EU 基準と同じ)、既存の銀行も 2007 年には適用対象となる。

このようにロシアの銀行部門の改革も徐々にではあるが進められてきている。しかし

経済における銀行の資金仲介機能は未だ弱く、国営銀行を中心にした金融の集中構造、不透明な株主構造、グループ・ファイナンスとしての特定顧客への過度の集中といった基本的な問題点の解決は先延ばしされており、さらに税金や中銀の種々の規制を回避するために行われる歪められた金融取引、資産と負債における期間のミスマッチ、リスク管理の技術や引当金の不足といった銀行業務運営上の問題点も残されたままである。

法制や会計基準等の違いもあり、先進国諸国との単純な比較は困難であるが、世銀がロシアの大銀行 35 行をサンプルとしてまとめた報告によれば、2000 年度で総資産に占める無収益の資産の比率は 18% であり、総与信に対する引当率は 7% に過ぎない。

新たな危機が発生する前に、まずは銀行部門の透明性を高め、民営化を進めるとともに、外資を積極的に導入し、銀行部門の発展をその根本から促していく金融改革がロシアには求められていると言えよう。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2003 Institute for International Monetary Affairs (財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihombashi Hongokucho 1-Chome, Chuo-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話 : 03-3245-6934 (代) ファックス : 03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>